人類に奉仕するロータリー
RI会長　会長ジョン・ジャーム

Rotary District 2640 Japan
海南東ロータリークラブ
ROTARY CLUB OF KAINAN EAST
2016-2017年
会長　上野山 雅也　　幹事　山畑 弥生　　ＳＡＡ：大江 久夫

第 1893 回例会
平成 28 年 10 月 24 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F
ゲスト卓話　医王寺住職　橋本 真人 様

１．開会点鐘
２．ロータリーソング　　「それでこそロータリー」
３．ゲスト紹介　　医王寺住職　橋本 真人 様
４．出席報告
会員総数 44 名　　出席者数 22 名
出席義務規定適用免除会員　１名
出席率 51.16%　　前回修正出席率 51.16%

５.会長スピーチ　　会長　上野山 雅也 君

皆様こんにちは。本日は、お客様として「医王寺」橋本住職をお招きしております。橋本住職には、先ほどの家族例会の折は大変お世話になっております。後程ありがたい卓話よろしくお願いいたします。

さて、今年度の地区大会も先週 22 日、23 日と堺で開催され、当クラブより 6 名の参加で無事終了いたしました。また、先だって行われました、記念ゴルフ大会に谷脇さんご参加有難うございました。

地区大会選挙人会議において第一号議案から第 5 号議案まで、ほぼ全会一致で決議いたしました。詳細については、後日機会をつくりご報告いたしたいと思います。それから翌日の地区大会 2 日目において、ロータリー米山記念奨学会より四千万達成クラブとして壇上において表彰されるという栄誉に輝きました。代表として私が受けとらさして頂きましたが、これはひとえにチャーターメンバーから始まる当クラブの歴史に残る快挙であると思っております。永年の皆様のご協力に感謝いたします。

あと少し時間を頂きまして、10 月の定例理事会の報告をいたしたいと思います。定例理事会は、10 月 13 日にマリーナシティホテルにて開催いたしました。理事会終了後は恒例の年始夫婦例会の料理の試食会を親睦委員会の皆様と合流し実施いたしました。年始の料理にご期待してください。と中村親睦委員長が言っております。

理事会は定例の進行通り進みまして、協議事項は何回も発表しておりますが、14 日の例会を 17 日に変更し 3 クラブ合同例会「ボジョレーヌーボの会」となっておりますのでご注意頂きたいと存じます。

それから、皆様方にも封書が届いたと思いますが、新入会員の山添雅生さんの件ですが、今のところ反対のご意見も届いていない様なので 11 月よりの入会の運びとさして頂きたいと思います。

米山奨学生クリスマス会の件については米山カウンセラーの坂口さんと奨学生の郎君の 2 名参加の予定でして会費 14,000 円をクラブから支出すること事を決定いたしました。和歌山ダルクについても例年通りの 5 万円を寄付することを決定いたしました。それから役員組織の「今後の提案」ということで提案さして頂きましたがこの件は次回例会にて述べさして頂きます。

６．幹事報告　　幹事　山畑 弥生 君
○例会臨時変更のお知らせ
和歌山南ＲＣ　11 月 11 日(金)→　11 月 11 日(金)
12：30～　ルミエール華月殿
(例会場変更)
○11 月ロータリーレート　　１＄＝102 円

７．米山奨学記念委員長　　委員長　山東 剛一 君

地区大会の米山記念奨学会 4,000 万達成クラブ表彰を授与され、大変、名誉なことであり。これまでの皆様のご協力に感謝いたします。今月は「米山月間」です。引き続き、皆さんのご協力をお願いします。

Rotary
事務所　〒642-0002
海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)
TEL:073-483-0801　FAX:073-483-2266
http://www.kainaneast-rc.jp　E-mail：info@kainaneast-rc.jp

８．ゲスト卓話　　医王寺住職　橋本 真人 様

ゲスト紹介　　小椋 孝一 君

橋本 真人 様は、高野山大学卒業後、高野山高校で 19 年間教鞭を執り、平成 16 年に退職。高野山真言宗醫王寺住職となりました。同時に高野山大学講師、高野山専修学院講師を勤め、後進の育成にあたり、また、高野山真言教学同布教研究所副所長として、ご活躍されています。

過疎、少子高齢化による寺院の綻び

週刊東洋経済（2015.8.15 発行）の調査結果をふまえ「少子高齢化、人口減少により、25 年後に高野山真言宗の 46%が消滅する可能性があると総本山高野山金剛峰寺が、全国の末寺に向け、談話を発表いたしました。この調査結果により、高野山真言宗のみならず、全国の各仏教寺院に衝撃が走りました。

私達は、これを受けて、何が大切かを考え直さないといけない。これまでのように檀家さんの葬祭や供養だけをするのではなく、一般大衆、皆さんの心に届く教学をもっと多くの人にお話しすることが必要であると思います。特にお寺と関わっておられる方は、高齢の方が多く、難しい話をするのではなく日常の経験を語ることで仏の教えを説いていくことが大切です。

■25年後には、多くの仏教寺院が消滅してしまう

	消滅可能性都市に存在する宗教法人数	宗教法人数	「消滅可能性寺院」の割合（%）
天台宗	1,062	2,970	35.8
高野山真言宗	1,613	3,546	45.5
真言宗智山派	1,053	2,704	38.9
真言宗豊山派	577	2,366	24.4
浄土宗	1,718	6,829	25.2
浄土真宗本願寺派	3,273	10,231	32.0
真宗大谷派	2,464	8,641	28.5
時宗	101	393	25.7
臨済宗妙心寺派	1,139	3,282	34.7
曹洞宗	5,922	14,062	42.1
黄檗宗	98	433	22.6
日蓮宗	1,681	4,903	34.3
日蓮正宗	186	580	32.1
仏教その他	3,889	14,771	26.3
神社本庁	31,184	76,030	41.0
全宗教法人数	62,971	176,670	35.6

（出所）国学院大学・石井研士教授。日本創成会議発表の「消滅可能性都市」に宗教法人がどれだけ存在するかで試算した

先日、醫王寺に外国の方がお参りされました。手を組み長い時間、お祈りをされていたので、声をかけるとサウジアラビアの方で、父親は日本人、母親はサウジアラビア人だそうです。和歌山大学の留学生でイスラム教徒でした。イスラム教では、手を組むそうで、指が祖父、父等の家族を表すそうです。イスラム教は危険な宗教ではなく、一部の人たちが争いをしています。世界の三大宗教（仏教、キリスト教、イスラム教）であり、本当は素晴らしい教えです。その後、お手紙をいただき、お参りしたときのお礼が流暢な日本語で書かれていました。因みに仏教では左が家族で右手が仏さま。これを合わせて合掌となります。日本では、年間で 3 万 2 千人が自殺しています。世界でも紛争が絶えず、今も昔も未来も心に届く教えと支えが最も必要であると感じます。

父の残したくれた、本を読んでいると「こころの杖ことば」という印象に残る文を見つけましたので、ご紹介します。

「出迎え三歩　見送り七歩」

天皇の侍従からお聞きしたことがある。地方に行幸なさる時、民間でのお泊りについて、宿泊先を選定されるのに随分と調査なさるそうである。

帯に短し、襷に長しの言葉ではないが、難しい判断をしなければならない。その侍従のいわれる最後の決め手は、宿泊先を調査している時、心静かに見送り七歩の礼を尽くして下さる処に心が定まるというのである。見送る姿勢に宿泊所のすべてが、凝縮されていると判断して、間違いがないといわれる。出迎えは誰でも出来るが、後ろ姿に礼を尽くす人は少ない。心したいものだ。

「一譲一徳」

戦後の流通経済の指導者の一人だったスーパー・ニチイの創業者西端行雄氏は、私の尊敬してやまない商いの佛様であった。西端さんが亡くなられてから、息子さんが思い出話の中で、ある涼しい夏を迎えた時、父に「今年の夏の売れ行きはどうですか」と聞かれ、「涼しい夏で、扇風機の在庫品が、随分残って困っています」と報告した。ところが、それを聞いた父が、「お客さん、涼しくてよかったね」と笑顔で答えられたという。商いの神髄も人の喜ぶところに徳を尽くすことにあったのだ。頭が下がる。

「よいことをして　忘れること」

佛教に「忘行」という戒めがある。他のために尽くして忘れるということは、難しいことであるが、釈尊は忘れて初めてよいことになるのであると教示されている。凡俗な者には、わかったようで、そうなり切れない自我がひそんでるものである。どなたの歌かはしらないが、かけた情けは水に流し、受けた恩は石に刻もう。という道歌を知り、身に沁みるものがあった。受けた恩を石に刻んで、感謝の心を養っていけば、自ずから”させていただいて有難う”という心が生まれてくる。

10月は 経済と地域社会の発展月間・米山月間です

9．閉会点鐘

次回例会
休　　会　　平成 28 年 10 月 31 日(月)
第 1894 回　　平成 28 年 11 月 7 日(月)
18:30～ 海南商工会議所 4F
お誕生日・結婚記念日お祝い

ニコニコ・BOX

中村 俊之 君	新年例会の食事お楽しみに
深谷 政男 君	マリーナでマラソン。社員が参加し、イラクで人質になった今井さんと知り合いました。
宇恵 弘純 君	安全パトロールカーを海南シルバー自動車で購入し、寄付しました。テレビで放映されました。
木地 義和 君	宇恵さん、お世話になりました。
千賀 知起 君	宇恵さんＴＶで見ました。
寺下 卓 君	地区大会に参加しました。橋本様、卓話よろしくお願いします。
上野山 雅也 君	〃
山畑 弥生 君	〃
大江 久夫 君	〃
小椋 孝一 君	
小久保 好章 君	欠席ばかりですみません。
桑添 剛 君	橋本さん、今日はおいで下さいまして、ありがとうございます。
山東 剛一 君	橋本真人様、ようこそお出で下さいました。今日はよろしくお願いします。
地区大会参加者	打ち上げの残金です。

2016～2017
国際ロータリー第2640地区
地区大会
『対話から新たな一歩』
～ともに楽しむロータリー～

2016年10月22日（土）
［場所］ホテル・アゴーラリージェンシー堺　4F
ダイヤモンドルーム
［場所］ホテル・アゴーラリージェンシー堺　4F
ロイヤルホール

2016年10月23日（日）
［場所］ホテル・アゴーラリージェンシー堺　4F
ロイヤルホール

ホストクラブ
堺ロータリークラブ

コホストクラブ
堺南ロータリークラブ　堺東南ロータリークラブ
堺東ロータリークラブ　堺北ロータリークラブ
堺おおいずみロータリークラブ　堺泉ヶ丘ロータリークラブ
堺清陵ロータリークラブ　堺中ロータリークラブ

国際ロータリー会長メッセージ

2016-2017 年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム
CHATTANOOGA ロータリークラブ所属
米国（テネシー州）

朋友ロータリアンならびに来賓の皆さま
2016-17年度地区大会へようこそお越しくださいました。地区大会は、互いに親睦を深め、意欲を高めるだけでなく、アイデアを広げ、計画を立て、ロータリーの未来に向けた準備をするための貴重な機会です。
今ロータリーは、言わば転換期となる歴史的に重要な局面に立っています。会員増強をはかるだけでなく、文化的にも変革を加えなければなりません。この文化とは、「勧誘」や「維持」といった言葉ではなく、入会への魅力を高めることや会員の参加という考え方を大切にする文化です。クラブをより活発にするために、思いやる心、奉仕の手、新しいアイデア、高潔性がますます必要となっています。地元への愛着が深く、世界をより良い場所にしたいと願う人は誰でもロータリアンとなれる可能性があります。
今年度、私たちには成すべき仕事が多くあります。今こそ、これまでの成果を土台として、世界でよいことを行うためのより大きな力となるべく、ロータリーが前進するときです。ポリオとの闘いで引き続き大きな進展を遂げる必要があります。過去数年間でポリオ撲滅活動は重要な節目に到達し、野生型ウイルスの常在国は2カ国を残すのみとなりました。しかし、撲滅が達成されたわけではありません。ですから今後もポリオ撲滅を最優先とし、ポリオのない世界という私たちの約束を果たすまで、全力を注いでいただけますようお願いいたします。
今地区大会が皆さまにとって実り多い大会となりますことをお祈りしております。ロータリーの創設者ポール・ハリスは、かつて次のように語っています。「結集された努力に限界というものはありません」
世界中の地域社会で卓越した奉仕を継続し、「人類に奉仕するロータリー」という遺産に輝かしい1ページを刻めるよう、ともに力を尽くしていこうではありませんか。 心を込めて

ガバナー挨拶

国際ロータリー第2640地区
カバナー
福井　隆一郎

２０１６～１７年度　国際ロータリー第２６４０地区の地区大会が、ＲＩ会長代理として大阪城南ロータリークラブの岡部泰鑑様ご夫妻をお迎えして盛大に開催されることは、この上もない喜びでございます。又、海外からのお客様、ご来賓、全国各地、地区のロータリアン、ローターアクト、インターアクト　大勢の方々が一度に集う素晴らしい大会であります。これも偏に、笑顔に満ち溢れた皆様のご協力の賜物と、心より御礼申し上げます。

本年は２６４０地区にとりまして、次の時代へ突入する先駆けとなる、記念すべき年と位置付けました。活気あるクラブ、地区のあるべきロータリーの姿が見えて参りました。ロータリーの輝かしい光が、皆様の中に生まれています。ロータリアン同志が対話をし、笑い、泣き、話し合うことが次のステップに繋げます。地区大会を通じて、ロータリアンであることの喜びを分かち合いましょう。

国際ロータリーの今年のテーマ「人類に奉仕するロータリー」は、未来に向かってロータリーが進む指針です。世界の動きの速さは、目を見張るものがあります。ロータリーもその真っただ中にあり、時代の変化に対応し続けなければなりません。そこには困難に立ち向かう勇気が必要です。ロータリアン一人一人が正々堂々と真剣に、考えていかなくてはなりません。幸い２６４０地区のロータリアンはその勇気を持ち合わせています。明るく前向きに、素晴らしいロータリアンとして誇りをもって行動し、人類に奉仕をしていきましょう。やがてロータリアン一人一人に幸せが舞い込んでまいります。

今回の地区大会では委員会・地区・日本事務局・国際ロータリーの皆様をはじめ多くの方々のご協力をいただきました。これこそ、ロータリアンが一つになって、力を注いだ賜物であると確信しています。ありがとうございました。輝かしいロータリーの世界は、不動のものであります。世界に誇れるロータリーをみんなの力で築きあげていきましょう。

地区大会選挙人会議　2016 年 10 月 22 日

大会決議

●第１号議案
2019-2020年度ガバナー候補者選出方法に関する採択の件
＊前年度決議を踏襲し、郵便投票による選出方法をとる

●第２号議案
2017-2018年度地区大会の開催地・開催日の件

●第３号議案
2017-2018年度の副ガバナー選任の件

●第４号議案
2015-2016年度財務報告の件

●第５号議案
今次地区大会（大会第2日目本会議）に上程する決議案の件

地区大会本会議　2016 年 10 月 23 日

大会決議

●決議第1号
2016-2017年度
国際ロータリー・テーマ実践に関する件
国際ロータリー会長ジョンＦ・ジャーム氏は、本年度のテーマとして「人類に奉仕するロータリー」を提唱されました。国際ロータリー第2640地区のロータリアンは、このテーマの意義を理解し、積極的な実践活動を推進していくことをここに決議します。

●決議第2号
国際ロータリー会長ジョンＦ・ジャーム氏の代理として、岡部泰鑑氏の派遣に感謝する件
本大会を開催するにあたり、国際ロータリー会長ジョンＦ・ジャーム氏は国際ロータリー第2660地区パストガバナー岡部泰鑑氏を会長代理として派遣されました。そのご厚意とご配慮に対して深甚なる感謝の意を表することをここに決議します。

●決議第3号
国際ロータリー会長代理岡部泰鑑氏に対する感謝の件
本大会において、国際ロータリー会長代理岡部泰鑑氏から、国際ロータリーの現況報告並びに格調高いメッセージをいただきました。これに対し、心からの敬意と感謝の意を表することをここに決議します。

●決議第4号
国際ロータリー第2640地区直前ガバナー辻秀和氏に対する感謝の件
国際ロータリー第2640地区直前ガバナー辻秀和氏は、地区テーマ「超我の奉仕」を掲げ、地区の発展のため多大な貢献をされました。これに対し深甚なる敬意と感謝を表することをここに決議します。

●決議第5号
2016-2017年度アトランタ（米国）で開催される国際大会を推進する件
2016-2017年度アトランタ（米国）で開催される国際大会に多くの会員・会員家族が参加しロータリーの発展に寄与することをここに決議します。

●決議第6号
地区大会開催にあたり、ホストクラブ、コホストクラブ並びに関係者に感謝する件
本大会開催にあたり、ホストクラブ（堺）、コホストクラブ（堺市内8クラブ）の皆様並びに関係者の皆様には多大なご苦労の中準備をされ、有意義な大会を開催していただきました。そのご努力に対して深甚なる敬意と感謝を表することをここに決議します。

Rotary NEWS

2016 年世界ポリオデー（10 月 24 日）

ポリオ撲滅活動は知っているけれど、じっくりと情報を調べてみたことはない。そのような方はぜひ、10 月 24 日「世界ポリオデー」を機に、ポリオ撲滅への認識を高めましょう。この日（日本は 25 日）、ロータリーを含む世界ポリオ撲滅推進活動の主要パートナーが、米国アトランタの米国疾病対策センターに集まり、特別ゲストと共にポリオ撲滅活動の現状を伝えるイベントを実施します。

今年の現時点までに確認された野生型ポリオウイルスによる発症数は、昨年同時点までの発症数より低くなっています。しかし、先日ナイジェリアで野生型ウイルスによる新たな発症が確認されたことに伴い、同国が 2016 年 9 月に再びポリオ常在国リストに加えられ、予断を許さない状況が続いています。

今年は、これまでにない規模とペースで予防接種活動が展開されているほか、155 の国・地域で、3 価経口ワクチンから 2 価経口ワクチンへの移行が進んでいます。2 価ワクチンは、現在も発症が続いている 2 種類のポリオウイルスに効果があり、ワクチン由来の感染が起きる可能性を低減することができます。